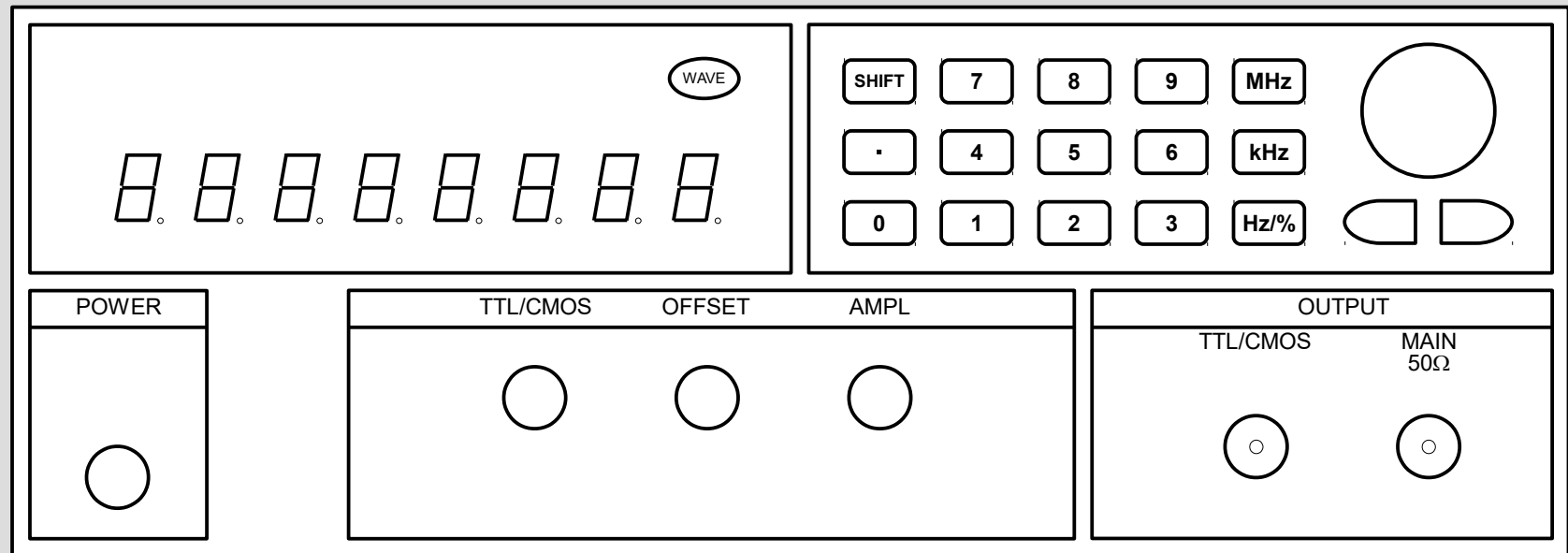


情報工学実験Ⅱ（電子回路）

FG-274による各種波形の出力

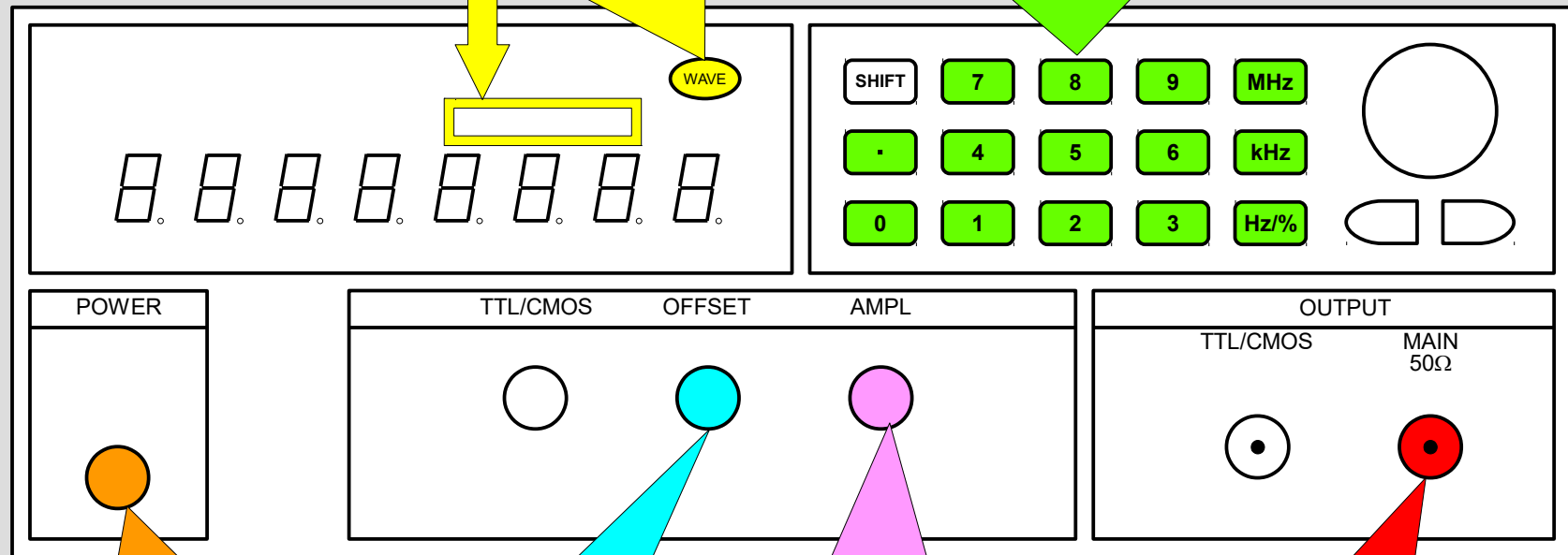


0 Vを中心に変化する信号

(3)WAVE : 出力する波形の選択

~ : 正弦波
^ : 方形波
□ : 三角波

(4)周波数と単位を入力する
値+単位



(2)POWER
ON(1)にする

(5)OFFSET
押す

(6)AMPL
回して振幅を
調整する

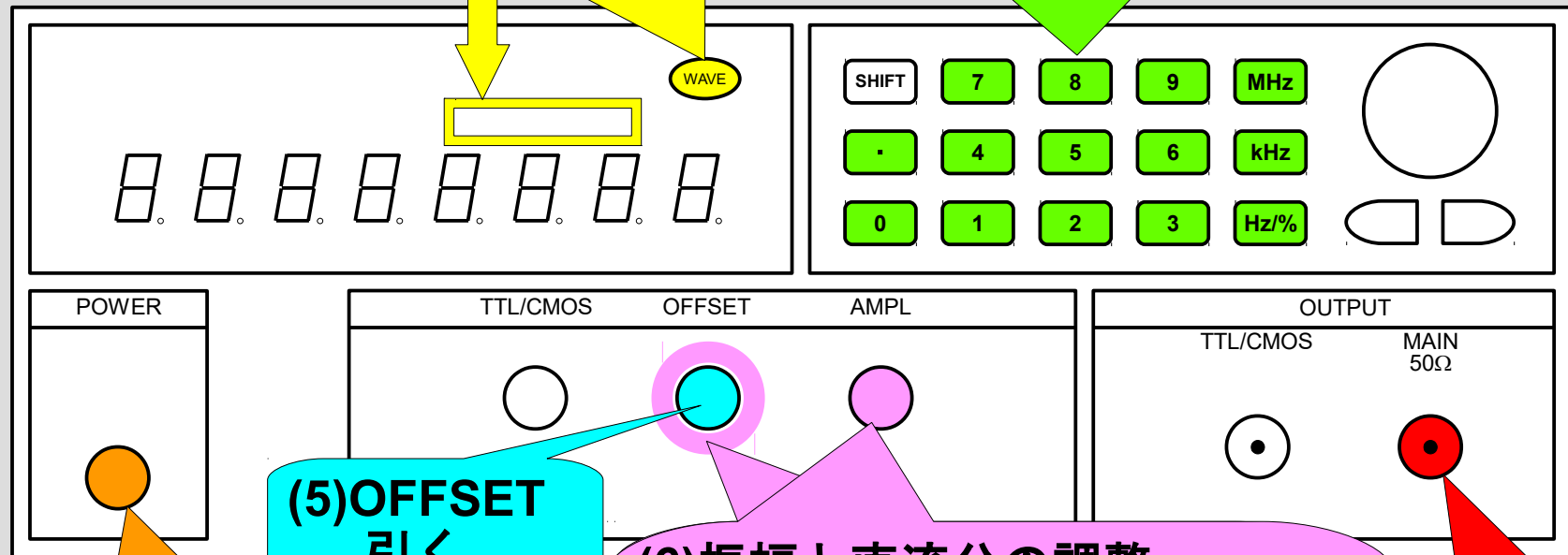
(1)OUTPUT
MAINに
接続する

直流が重畳した信号

(3)WAVE : 出力する波形の選択

~ : 正弦波
^ : 方形波
∇ : 三角波

(4)周波数と単位を入力する
値+単位



(2)POWER
ON(1)にする

(5)OFFSET
引く

(6)振幅と直流分の調整
回して調整する
AMPL : 振幅
(peak-to-peak)
OFFSET : 直流分

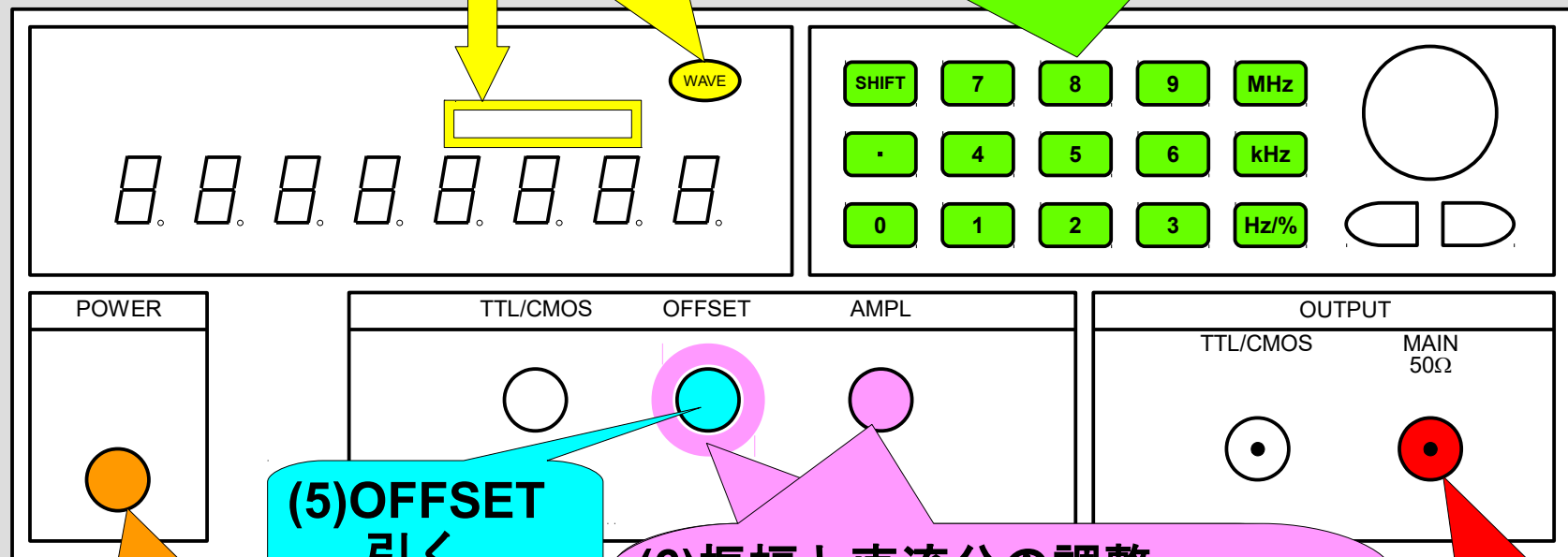
(1)OUTPUT
MAINに
接続する

直流が重畳した任意のデューティ比の方形波

(4)周波数とデューティ比を入力する
周波数 : 値+単位

デューティ比 : **SHIFT** + **7(DUTY)**
+ 値 + **Hz/%**

(3)WAVE
「」を表示させる



(2)POWER
ON(1)にする

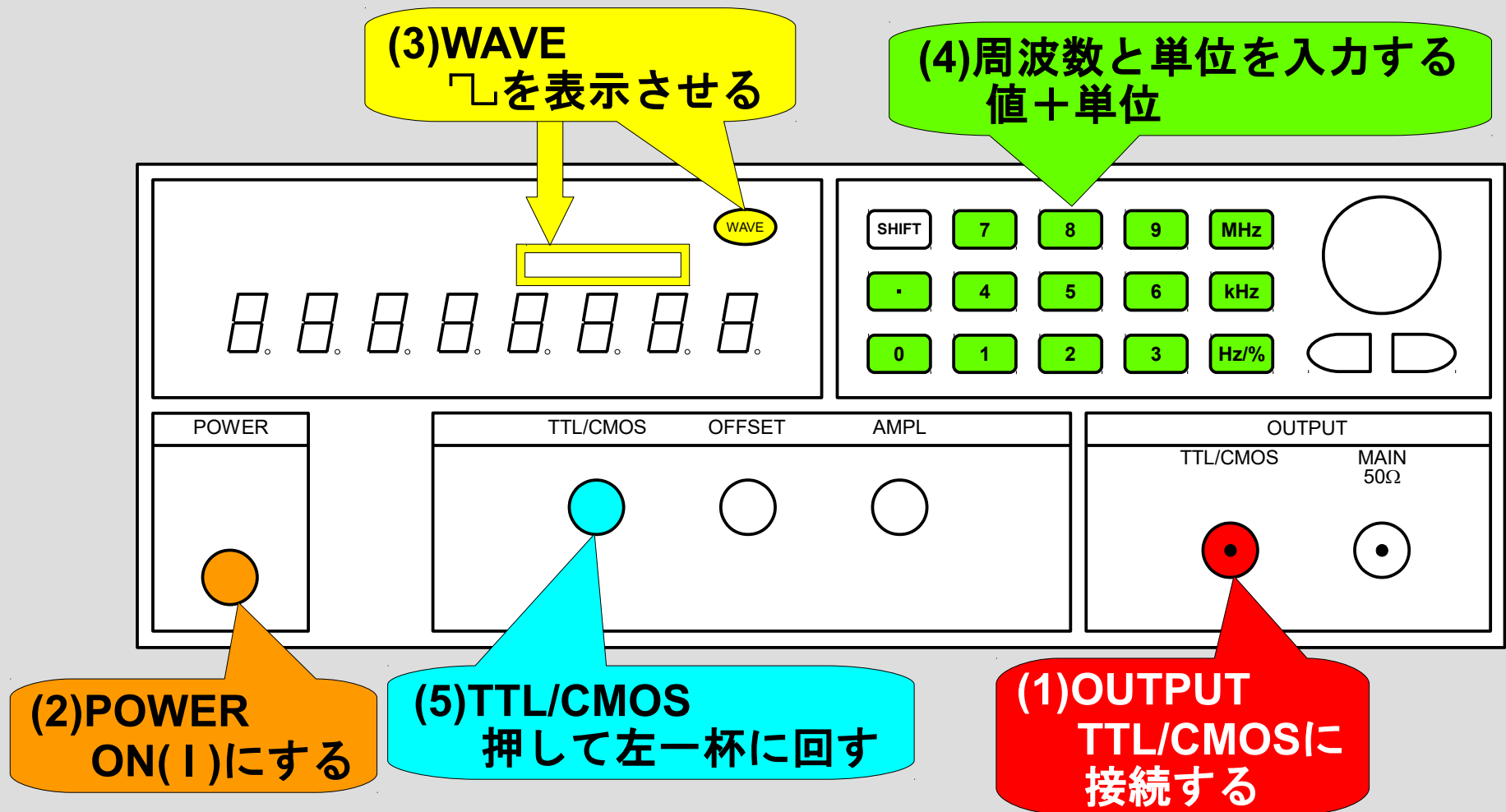
(5)OFFSET
引く

(6)振幅と直流分の調整
回して調整する
AMPL : 振幅
(peak-to-peak)
OFFSET : 直流分

(1)OUTPUT
MAINに
接続する

TTLレベルの方形波

●TTL-ICを用いた論理回路のクロックや入力信号として使用する

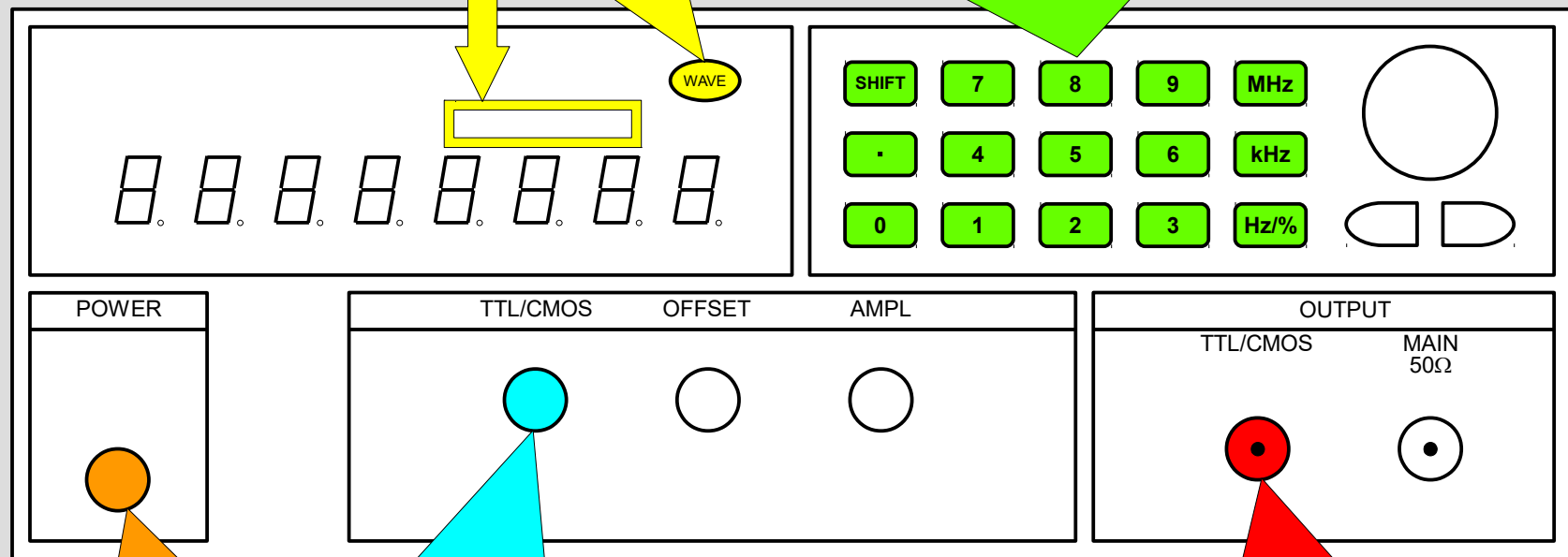


デューティ比を指定したTTLレベルの方形波

(4)周波数とデューティ比を入力する
周波数 : 値+単位

デューティ比 : **SHIFT** + **7(DUTY)**
+ 値 + **Hz/%**

(3)WAVE
「」を表示させる



(2)POWER
ON(1)にする

(5)TTL/CMOS
押して左一杯に回す

(1)OUTPUT
TTL/CMOSに
接続する